

北杜市公共施設等総合管理計画等検討委員会
(令和3年度第4回)
会 議 録

北杜市企画部企画課

会 議 録

会 議 名：北杜市公共施設等総合管理計画等検討委員会（令和3年度第4回）

開催日時：令和4年3月23日（水） 午後3時～午後3時45分

開催場所：北杜市役所 3階 大会議室

議事次第：（1）パブリックコメントの結果について
（2）北杜市公共施設等総合管理計画改訂（案）について
（3）その他

会議資料：会議次第・名簿・北杜市公共施設等総合管理計画等検討委員会設置要綱、議事資料

会議の公開・非公開の別（非公開の場合はその理由）：公開

傍聴人の数（公開した場合）：14人

出席委員：藤原真史、小川 昭二、松木 良、村田 茂、清水 精、

欠席委員：矢野 望、矢崎 茂男、矢崎 憲恒

事務局：上村市長、小林副市長、宮川政策秘書部長、中田企画部長、進藤財政課長、川端下管財課長
齊藤企画担当リーダー、本荘企画担当、奥石企画担当

会議録署名委員：小川 昭二、松木 良

1. 開会

2. 委員長あいさつ

3. 市長あいさつ

4. 議事（議長 藤原委員長）

（１）パブリックコメントの結果について

（２）北杜市公共施設等総合管理計画改訂（案）について

- ・事務局より、パブリックコメントの結果並びに北杜市公共施設等総合管理計画改訂について一括して説明した。

（質疑応答）

- 委員 ・ 3月議会であった北杜市公共施設等総合管理計画（以降、本計画）についての質問内容と答弁の内容を教えてください。パブリックコメントの一環として考えておりますのでお願いいたします。
- 事務局 ・ 本計画について複数の質問あり、統廃合の今後の取組やスケジュール、市民への理解の重要性についての質問をいただいております。回答としましては、「本計画は、市民に必要とされる行政のサービスを将来にわたって維持していくために本市公共施設の管理を総合的・計画的に進めていくための基本的な方針であること」、「本計画の改訂については、対象施設の見直しや縮減目標を明確にするとともに、効率化やサービスの向上、利便性の確保に配慮しながら全体の施設類型ごとの方針を策定すること」、また、今後スケジュール等については、「本計画を基に個別施設計画を令和4年度から令和5年度までの2年間において着手策定し、過去に策定しているものと統合するなかで審議会等において丁寧に対応し進めていくこと」、「今後は市民説明会など丁寧な説明をしながら多くの市民へのご理解をいただきながら進めていくこと」を説明しております。
- 委員 ・ 当初の資料から簡潔に分かりやすくまとめてくれた。今後、市民に説明し理解を得る上で、分かりやすさが重要になってくるので、引き続き同様の姿勢をお願いします。
- 事務局 ・ 来年度から個別施設計画に着手いたしますが、分かりやすさを心掛けながら進めていきたいと考えます。
- 委員 ・ 個別施設計画を着手する際に、パブリックコメントなど市民の関心が高い意見をどのように汲上げていくのか。現段階の見通しや予定を教えてください。
- 事務局 ・ 1年目は施設類型ごとの方針を検討し市民のご意見を伺う時間を割り、2年目の計画に落とし込む事を予定しています。
- 委員 ・ 可能な限り市民の生活に直結する計画なので、丁寧な対話を重ねて良い計画をお願いします。
- 委員 ・ 同時期に行われている北杜市総合計画、北杜市行政改革大綱のパブリックコメントの意見などは、今後の個別施設計画を検討する際の参考とされますか。
- 事務局 ・ 個別施設計画を策定する際の参考といたします。
- 委員 ・ 最大限丁寧に反映、あるいは参考に進めるようお願いいたします。

（その他意見なし）

- 議長 ・ 当委員会として本計画の改訂（案）にご了承いただくことでよろしいでしょうか。

委員 ・全会一致により了承

(3) その他

- 議長 ・委員の皆様から、個別施設計画に対する要望あるいは本計画に関する期待など、ご発言をお願いします。
- 委員 ・本計画がこれで前に進む訳ですが、本計画に携わる方々、決定して実行する時は市民の方及び我々も含め、いろいろな角度からの意見がありますので、事務局はじめ私も本計画にぶれずに向き合い、意見に耳を傾け丁寧な説明をお願いします。また、批判的な意見ではなく建設的な意見と捉えて前向きに進めてほしいと思います。なお、天災等が起こった時は、市民または市民以外に施設の利用等前向きに検討してもらいながら、危機管理や防災面を進めてください。委員になり様々な点から勉強させていただき、評論家にならないよう委員の職務を務めました。事務局等の本計画をまとめる大変さも伝わります。市民から本計画の相談を受けた際は、できる限り丁寧な説明をしていただきたいと思いますと考えます。
- 委員 ・平成 29 年に策定された北杜市公共施設等総合管理計画を新市長のもと本計画に統合することは大変な苦労があった中、公共施設の統合に係る審議をしてまいりました。しかしながら、私の住む周辺では、いつ頃に公共施設の見直しがあるのかなど、今後どのように進むのか気にしている方々がいます。そのような方々がいることを踏まえて、個別施設計画を進めていく中、伝え方は様々ありますが、住民に丁寧な説明をお願いします。
- 委員 ・本計画に係る対象施設の多さなど委員として審議に携わることの大変さを感じておりましたが、事務局の説明などにより審議を進めることができました。2 か年にかけて個別施設計画の策定がありますので、パブリックコメントの意見等を活かした公共施設の方針など大きな問題もありますが、本計画を市民の理解と協力を得ながら進めてほしいと考えます。
- 委員 ・本計画について、私の心の内では、公共施設に関する意識改革計画と捉えています。私たちは、まもなく北杜市発足後 20 年を迎えますが、まだまだ、我がまち、私の学校、私の温泉と言った言葉が飛び交っている状況です。それぞれ、私の地域を強く意識しております。私は、これを全て否定するものではありません。それはそれで、我がまちを愛することは重要だと思っています。その心があるから、ふるさとの言葉が残っているものと思います。でも、よく考えればそれは、8 つのまちである必要はないのではないかと、私は思います。北杜市は一つと言った意識改革がこれから必要なのではないかと思います。その事を強く、市民に問いかけていただければと思います。そして、もう一つのお願いとして、本計画の成果をだすためには、30 年後までを考える想像力が必要だと思っています。そのためには、非常に広い視野を持つことが必要だと思っています。直近で施設を改修する必要が出てきました、10 年・20 年経ち、結果、特定の地域だけに施設が残りました。これでは、市の将来が無いわけでございます。よく広く眺めて北杜市全体に公共施設がバランスよく配置される。そのような広い視野を持ってもらいたいと思います。まさしくこれが、まちづくりの計画です。北杜市には良い所に良い施設を残していく、そのようなバランス感覚が重要だと思っています。その事を市民に発信していただければと

思います。

- 委員
- ・私からも2点ほど要望させていただきます。公共施設は考え方によって、構造物はコンクリートの塊としていますが、それぞれで作られ歴史を積み重ねるにつれて、市民の人々の生活を支える利便性を提供する。あるいは、積み重なった思い出が愛着となって生まれてくる。そうすると、単なる構造物と言い切れなくなる。そうした中、愛着となるものが廃止になった場合、利用者からすれば取り上げられる。取り上げられることを受け入れるには、納得感が必要になると思います。そのために、個別施設計画あるいは本計画に基づく公共施設側の管理、寿命を迎えた時の処置の仕方、そのような事に対して、丁寧な説明や対話を繰り返すことによって、納得感を得られ受け入れることが可能な状況を丁寧に積み上げて作っていただきたいと思います。2つ目といたしまして、8つの地域で積み重なった公共施設は、ある意味合併後、8つの絵を美術館に飾っていたようなイメージだと思います。それぞれの作品は自己完結しており、また、それぞれの公共施設は必然性があるあって欠かせないピースの位置付けはあったと思います。ただ、合併からの年月や財政的な制約も厳しい中、一つの絵として北杜市を捉えた時に、どこに公共施設を配置して書くのが望ましいのかと言ったことを見据えながら、8つバラバラのキャンバスではなく、一つのキャンバスに書き直して描き、最適配置の決定をしていただきたい。あるいは、そうした意識を持てるような、一体となつての北杜市のまちづくりを進めていただきたいと希望しております。8つの地域が集まったことは、地域の特色や強みの個性があつて、それが北杜市の魅力でもあります。ただ、みんなが幅広く利用する公共施設の観点から見れば、8つの絵をそのまま残すのではなく、新たな絵に書き替えていく、そして、その絵を描く作業には市民に参加してもらつて、本計画が出发点となる形で機能していくことを期待しています。

5. 閉会

以上